くるめの文化財

平成18年 10月
第 22 号
東久留米市教育委員会

東京文化財ウィーク企画事業資料

特集　旧前沢村

旧前沢村は、東久留米市のほぼ中央に位置し、現在の前沢一～五丁目を中心に幸町・中央町・八幡町・滝山・南町の一部を含む広い範囲に及んでいます。前沢村の起源は中世まで遡ることは明らかで、天正十一年（1583）の「後北条氏伝馬手形」にもその名がみられることから、江戸時代以前からの古い村であることが分かります。徳川家康の江戸入り後は旗本（後に大名）の米津家の領地となり、幕末まで続きます。

前沢村の特色は「前沢宿」の存在です。旧延命寺のあった場所から米津寺付近までの東西にのびる道の両側に家々が立ち並び、いわゆる「宿」の形態をみせています。この道は門前村・小榑村・土支田村・練馬村を経て板橋宿に至る街道です。また宿の中央から南には志木街道（小金井街道）が府中へ延び、村の中央を秩父道（所沢街道）が東西に横切っています。その他、東京都の多摩地域で唯一の大名墓所（米津寺）や尾張徳川家鷹場宿所の前沢御殿跡など、前沢には歴史遺産が多く残されています。

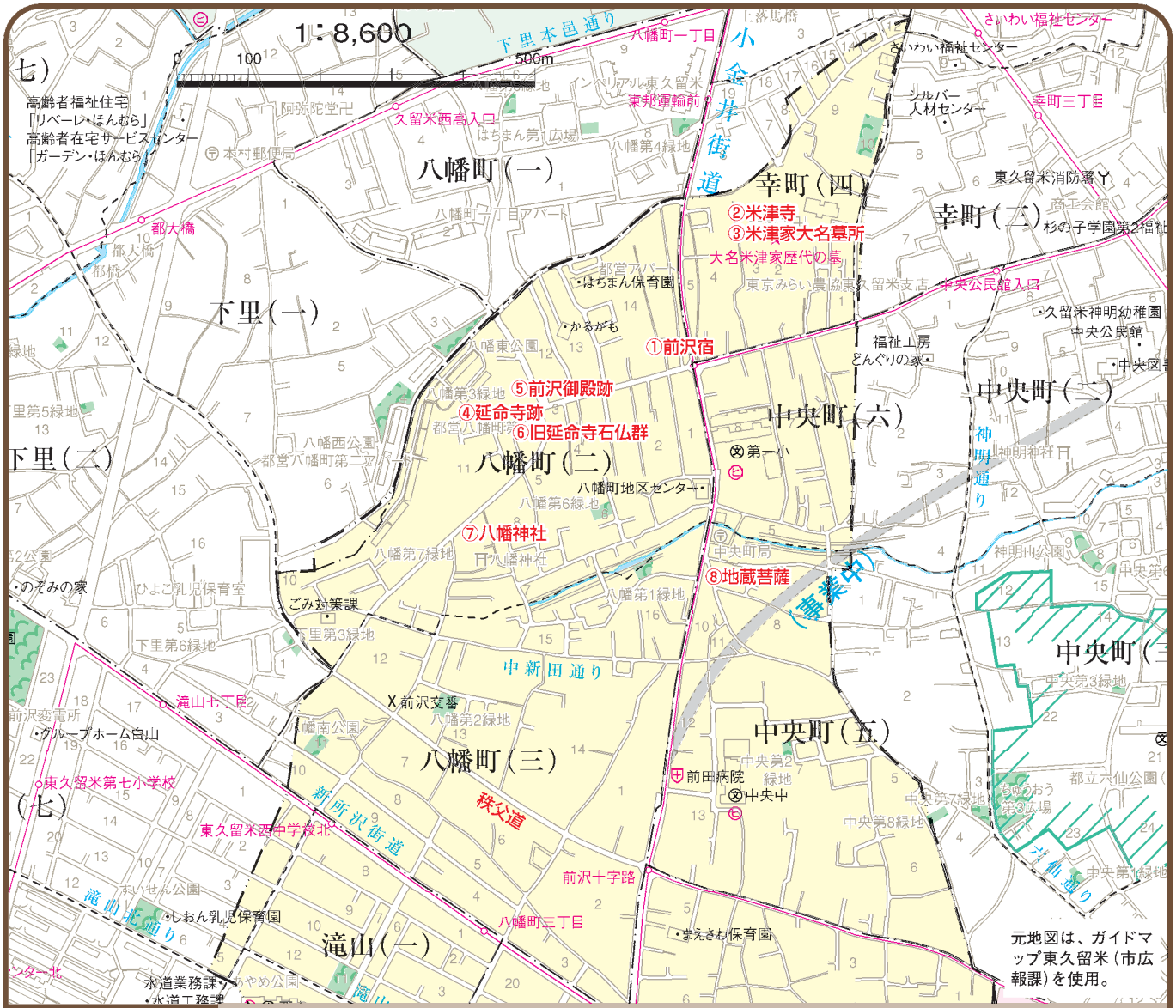
江戸時代の前沢村は米津家の領地（新田は幕府領）で、文政十年（1827）の家数は114戸、人口は549人。石高（米に換算した生産高）は103石。明治5年（1872）の家数は112戸、人口648人でした。明治22年（1889）に前沢村など8村によって久留米村が成立しました。同26年（1893）に東京府に編入し、昭和18年（1943）に東京都となりました。

明治時代地引絵図の前沢宿（左上）

この地図は明治6年の「地租改正」によって作成された初めての近代測量図です。前沢村の北部にある前沢宿や米津寺の付近です。原図は約600分の1。白に屋根印が屋敷地、緑が林、薄茶が畑、黄色が田。市指定有形文化財。

昭和22年の前沢宿（左下）

極東米軍が撮影した航空写真（部分）
（国土地理院空中写真）



前沢歴史散歩マップ

①前沢宿　②米津寺　③米津家大名墓所　④延命寺跡　⑤前沢御殿跡
⑥旧延命寺石仏群　⑦八幡神社　⑧地蔵菩薩

① 昔の前沢宿

幸町四丁目

昭和39年頃の前沢宿。交差点から旧市役所・駅へ向かう道です。

② 米津寺（べいしん）

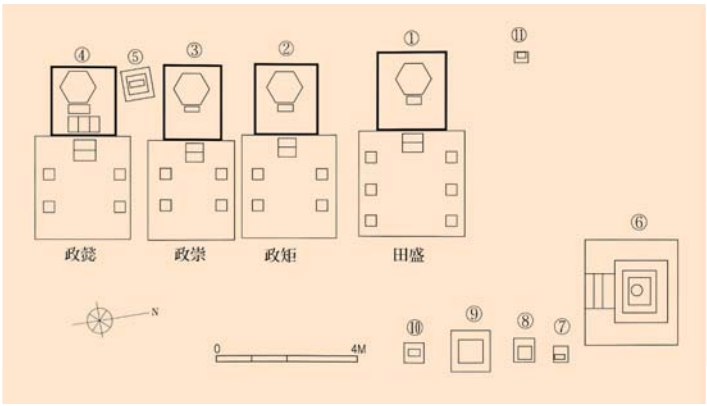
幸町四丁目2-40

米津田盛を開基、大愚和尚を開山として万治二年（1659）に米津家の菩提寺として創建されました。臨済宗妙心寺派。

米津家大名墓所

米津寺内には、東京都の多摩地域では唯一の江戸時代大名墓所が残されています。米津田盛（二代）、政矩（四代）、政崇（六代）、政懿（八代）の四人の大名や親族の墓碑・供養塔が整然と並び、小規模ながら大名墓所の形式を今に伝える貴重な史跡です。東京都指定史跡。

左が米津田盛の墓石。2.5m程の方形石組みの埋葬施設の上に高さ1.7mの笠付六角塔がのり、墓前には家臣が寄進した石燈篭が並んでいます。
右は米津田政の正室である松樹院の宝篋印塔といわれています。



米津家墓所配置図

①田盛（天和四年・1684）②政矩（元禄十六年・1703）
③政崇（天明四年・1784）④政懿（嘉永六年・1853）
⑤〜⑪親族墓碑·供養塔　⑥松樹院宝篋印塔

米津家下屋敷

米津田盛の旗本時代の下屋敷が17世紀前半の江戸の様子を描いた「江戸図屏風」（国立歴史民俗博物館所蔵）に描かれています。浅草茅町の隅田川に面した所にありました。

米津家　（米津は「よねきつ」「よねきづ」「よねつ」などと呼ばれますが、公式な系図では「よねきつ」となっています）

米津家は三河国米津村（現愛知県西尾市）出身の徳川家直参の旗本です。徳川十六神将図にも描かれた名門で、その跡を継いだ米津田政（初代）は江戸町奉行となりました。二代田盛の時に加増されて1万5千石の大名となり、大坂定番に就きました。三代政武の時に久喜藩主（埼玉県久喜市）、七代通政の時に長瀞藩主（山形県東根市）となりましたが、前沢・門前·神山の東久留米市域の村々は江戸時代初期から幕末まで米津家の領地でした。

② 米津寺開山大愚和尚肖像画

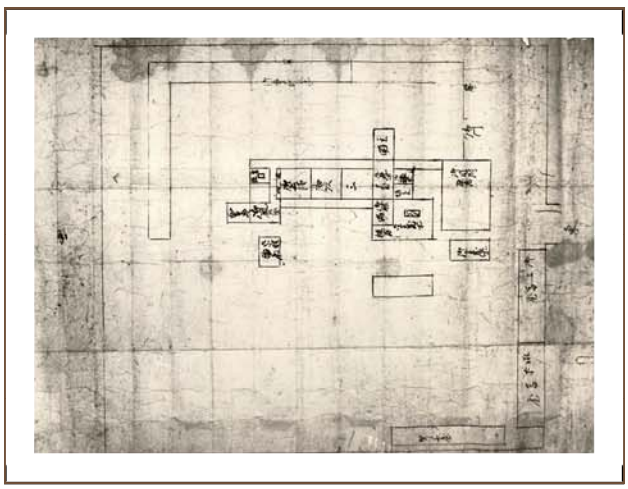
幸町四丁目2米津寺

承応二年（1653）に描かれた米津寺開山大愚和尚の頂相画（禅宗様式の肖像画）で、画像の上部に和尚直筆の讃が記されています。絵の作者は不明ですが、保存状態が良く、美術的にも優れた作品です。絹本彩色。縦1m。
市指定有形文化財。

④ 延命寺跡

八幡町二丁目11

現在は墓所となっていますが、かつては延命寺という寺院がありました。延宝から嘉永までの歴代住職の墓碑が歴史の古さを偲ばせます。



⑤ 前沢御殿跡

江戸時代の東久留米市域は尾張徳川家の鷹場であり、鷹狩の際の宿泊所である御殿が寛永十八年（1641）から延宝四年（1676）まで前沢の延命寺に作られ、前沢御殿や楊柳沢御殿と呼ばれました。御殿には藩主や世継が35回も訪れています。市指定旧跡です。また、この御殿の見取図も伝わっています（個人所蔵）。

⑥ 旧延命寺石仏群

旧延命寺の門前には5基の石造物があります。左から2番目が天保九年（1838）の僧の坐像がのる珍しい墓塔です。他に庚申塔や地蔵菩薩があります。市指定有形民俗文化財。

⑦ 八幡神社と石灯篭

八幡町二丁目8-17

もと前沢村の鎮守で、米津家が前沢御殿建造頃に社殿を建立したものと推測されます(現在の社殿は再建されたものです)。境内には明暦元年(1655)の市内最古の石燈篭があります。他に、文化十五年(1818)の鳥居、文化四年(1807)の水盤もあります。

編集　東久留米市教育委員会生涯学習課
〒203-8555　東京都東久留米市本町3-3-1
電話042-470-7777（内線3213）

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOY INK